

<News Release>

2016年6月15日

報道関係各位

参加募集告知

AEA Jイメージフレグランスコンテスト2016特別企画 「フレグランス作り体験キャンペーン」を全国で展開 2016年 7月 1日(金)から 8月 5日(金) まで

公益社団法人 日本アロマ環境協会(略称:AEA J、東京都中央区)は、AEA Jイメージフレグランスコンテスト2016特別企画として、2016年7月1日(金)～8月5日(金)まで、植物から抽出された精油(エッセンシャルオイル)を使って香りのブレンドを楽しめる「フレグランス作り体験キャンペーン」を、全国のAEA J認定スクール(アロマテラピースクール)で実施します。

AEA Jイメージフレグランスコンテスト(主催:AEA J、後援:環境省ほか)は、アロマテラピーに欠かせない植物の香り“精油”をブレンドし、テーマ地をイメージしたナチュラルフレグランスの創作を通じて、香りある風景、アロマ環境への関心を高めていただくとともに、調香の魅力を広めていくことを目的としています。14回目を迎える今年は「富山」をイメージした香りを全国から募集します。

「フレグランス作り体験キャンペーン」に参加しよう！

全国約80のAEA J認定スクールで、精油を使ってオリジナルの香りを創作できる「フレグランス作り体験キャンペーン」を行います。お近くのスクールやイベントの内容は、特設サイトでご確認いただけます。

本キャンペーンでは、下記の2種類の講座を実施しています。

①フレグランス作りを楽しむ講座

②AEA Jイメージフレグランスコンテストへの応募作品を作製する講座

どちらも世界にひとつだけの香り作りを楽しめます。

ぜひお近くのスクールで体験してみてください。

※参加費・申し込み方法はスクールによって異なります。



【AEA J認定スクールとは】

AEA J会員(法人・個人)が運営するアロマテラピースクールです。AEA Jではアロマテラピーを安心して学べるよう、講座やコースについての認定を行っています。

★詳細は、AEA Jイメージフレグランスコンテスト特設サイトをご覧ください。

http://www.aromakankyo.or.jp/lp/fragrance_contest

AEA Jフレグランス

検索

参加者には、
オリジナルムエット(試香紙)
プレゼント！



※数に限りがあります。

本件についての詳細や、ご取材などにつきましては、お気軽にAEA Jまでご連絡ください。

＜本件に関する報道関係からのお問い合わせ先＞

公益社団法人 日本アロマ環境協会 広報担当

Tel: 03-3548-3401(平日9:00～17:00)

参考資料： 第14回目を迎える「AEA Jイメージフレグランスコンテスト」のあゆみ

2002年に長野県松本市で開催された「かおり風景全国フォーラム」(環境省主催)をきっかけに「AEA Jイメージフレグランスコンテスト」がスタート。以来、毎年テーマ地を変えてコンテストを実施してきました。※2005年除く

2002年
長野県松本市



2003年
大分県別府市



2004年
和歌山県高野市



2006年
東京都新宿御苑



2007年
京都「源氏物語千年の香り」



2008年
東京都東京タワー



2009年
静岡県静岡市



2010年
北海道北見市



2011年
三重県伊勢市



2012年
岩手県平泉町



2013年
兵庫県神戸市



2014年 会津



テーマ地は福島県会津地域。武家文化や仏教文化など地域に根付いた暮らしの文化、雄大な自然や温泉、豊かな食など、さまざまな特色があります。

環境大臣賞：【作品名】望郷の香り【受賞者】福島 奈穂美さん(東京都)

【コメント】会津は私の故郷です。季節が巡るごとに移りゆく悠々とした大自然と、古からの歴史と文化が根付く会津は、今もなお人々とともに生きています。優しさや強さをもつネロリ・ラベンダー・ジュニパーベリー・ローズマリー、過去と今を繋ぐフランキンセンスとパチュリ、そしてどこか郷愁を感じさせる薄荷とサンダルウッド。温かくそれでいて芯がある、まるで優しく私を包んでくれる祖母のような、我が故郷を想いブレンドしました。

2015年 徳島



テーマ地は徳島。豊かな自然に恵まれ、藍の豪商の栄華を今に伝えるうだつの町並みや、阿波おどりや阿波人形浄瑠璃といった伝統文化など、さまざまな特色があります。

環境大臣賞：【作品名】阿波藍ブルー【受賞者】林 真理子さん(神奈川県)

【コメント】藍の葉を発酵させた染料をスクモと云い徳島産を阿波藍と呼んで他と区別しています。阿波藍は藍染の文化を長く支えてきました。「かめのぞき」「浅葱」「納戸」「留紺」など藍四十八色と呼ばれる沢山の色は四季を愛する日本人の感性が生み出した色彩美でしょう。この変化する藍染を香りでイメージしました。軽やかな柑橘系に始まり樹木やハーブ、甘い花の香りで南国徳島の豊かな自然と吉野川の恵みを表現しました。

＜本件に関する報道関係からのお問い合わせ先＞

公益社団法人 日本アロマ環境協会 広報担当 Tel: 03-3548-3401(平日9:00～17:00)